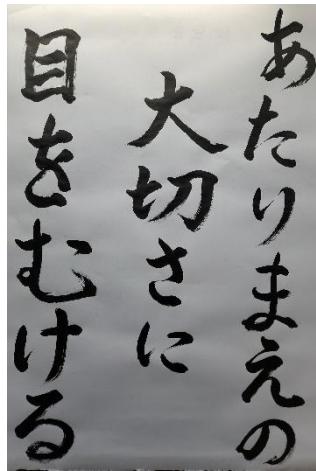


慶念寺の掲示板 第四十五回

つむがい



「あたりまえの大切さに目をむける」

私たちの日常は、あたりまえに満ちています。そして、そのことに何の疑問も持ちません。私で言うのならば、朝起きてまず本堂でご本尊様にお参りして、朝食を食べて仕事や学校に行く家族を送り出す。これが、私があたりまえの日常です。きっと、「あたりまえ」は人の数だけあるのだろうと思いません。

そしてまた、私の日常の話を「それが何より大切なんだよ」と思う方もいらっしゃることだらうと思います。私たちが思つていてる以上に、あたりまえというものは移り変わつてきます。三年前のあたりまえの日常と、現在では全くと言つていいほど違います。そしてまた、そのあたりまえの日々が突如として

終わりを迎えることもあるのです。あたりまえの大切さに気付くのが失つてからでは取り返しがつきません。今一度、自分の周りにあるあたりまえに目を向けて、その大切さを感じることはとても大事です。そして、その大切さを感じた時に、本当の意味で「あたりまえのことはない」という事に気づくことはないと思います。

出来るのです。

掲示板の記事でよく書いていることであります、様々な縁が繋り合わさつて今の私たちがあります。一人として同じ人間がないように、全く同じ因縁により現在がある人など、存在しようがないのです。そんな私たちが出会い、縁あって今の「あたりまえ」をともに生きている。これを「有難い」と言わずしてなんと言うのでしょうか。

以前、この掲示板のコーナーで書いたこともありますので、「あたりまえ」の対義語は「有難い」という事をご存じの方は多くいらっしゃるかと思います。しかし、対義語だから正反対の場所にあるわけではありません。私たちの見方が反対なだけなのです。「あたりまえ」はそのまま「有難い」に展開していきます。「あたりまえ」に満ちていた日常は、本当は「有難い」に満ちていた。「あたりまえ」の日々の中で、時々でいいからその大きさに目を向けて、もう一度どこない「有難い」日々を過ごしていることを感じていただきたいと思います。



雅楽会の演奏会が行われます

六月二十七日(金)



築地本願寺蓮華殿にて、住職が所属している築地本願寺雅楽会の演奏会が開催します。

上の写真は二年前の演奏会の準備の写真。このよう舞台を設置して行います。詳細はまた来月にお知らせいたしますが、住職も出演します。

するためにお稽古に励んでいます。

雅楽という言葉には、「雅正(がせい)」の音楽」という意味があり、元来式典などに用いられる正しい音楽という意味があります。

「笙(しょう)」・「簫簾(ひちりき)」・「龍笛(りゅうてき)」、「樂箏(がくそう)」・「樂琵琶(がくびわ)」、「鞨鼓(かっこ)」・「太鼓(たいこ)」・「鉦鼓(しょうこ)」の三管両絃三鼓という構成で演奏され、世界最古のオーケストラとも言われております。完全な構成で聞ける機会はあまり多くはありません。

当日は「舞」の演目もあります。雅楽で「舞」と言うと、イメージをしづらいかもしませんが、是非お越しいただければと思います。

帰敬式のおすすめ(法名)

帰敬式というのは、浄土真宗の教えをよりどころに生きる自覚を新たにし、生前に法名をいただく大切な儀式です。本来浄土真宗では生きている「今」に帰敬式を受式し法名をいただくのが本来のあり方です。ご希望の方は慶念寺にお尋ねください。

第一回公開講座を行います



一令和7年 5月号(第46号) -

多摩市民館を会場にて、公開講座を開催いたします。二回目になりますが、いつから参加しても大丈夫な会です。色々なところで名前を聞く『歎異抄』について、南條先生がわかりやすく解説してくださいますので、是非ご参加ください。

内容も後序に入り、残すところあと数回です。同封の案内やホームページ、もちろんラインからでもお申込みいただけます。『歎異抄』を学ぶ勉強会は多くあります、新宗教が母体を隠して行っているものもありますので、お気を付け下さい。『歎異抄』に興味のある方は是非こちらへお越しください。

寺報での案内が最速となつており、ここ数回はタウンニュースに告知が出ると、すぐに定員に達してしまったので、今回は、会場の関係上定員がいつもより少ないため、お早めに決めてからご連絡を頂くと、対応しかねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また日程や会場・葬儀社がお決まりでも、お寺への連絡は直接お願いいたします。

仏事について何かあつたらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また日程や会場・葬儀社がお決まりでも、お寺への連絡は直接お願いいたします。

発送作業のお手伝いのお願い

寺報の発送作業のお手伝いをしていただけの方を募集いたします。

日時・令和7年6月21日(土)

十四時から

場所・慶念寺本堂
内容・寺報等の封筒詰め作業

みんなでワイワイとおしゃべりしながらやつてある発送作業です。寺報を折つて封筒に詰めるだけ。時々子どもたち参戦してみんなで楽しく作業をしています。お時間ありますたら是非お越しくださいませ。ご希望の方は、終了後に駅までお送りいたします。



ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、お

気軽にご相談ください。また、お布施に関する質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

次回の法話会は

六月十五日(日) 十四時から 慶念寺本堂

にて「定例法話会」を行います。今回は、住職の幼馴染のバイオリンのお坊さんがお話をしてくださいます。もしかしたら住職の笙の演奏もあるかも・・・

お申し込みいただくことをお勧めいたします

。また、講座中の仏事相談なども随时受け付けますので、何かありましたら気兼ねなくお尋ねください。

今月は、前半こそんびりしていたのですが、三週目の途中から大忙し。の予定。実はこの原稿を書いているのは五月の前半なのです。慌ただしくなることが、予定表の状況からはつきりとわかるため、前倒し前倒しで色々な作業を進めています。

編集後記



浄土真宗本願寺派
歓喜山 慶念寺

〒214-0012

川崎市多摩区中野島 4-24-2-5
電話: 044-819-5482
FAX: 044-819-5538
Email: mail@kyounenji.com
ホームページ URL
<https://kyounenji.com/>



慶念寺ホームページ QR コード